



幼年期だより

令和7年6月12日（木）NO. 1

子どもたちの育ちと学びをつなぐ

幼年期教育研究委員会では、子どもの育ちと学びをつなぐための連携のあり方について研究をすすめてまいりました。5歳児から小学校1年生までの2年間の「架け橋期」は、子どもたちの生涯にわたる基礎を培う重要な時期です。この大切な時期の課題の1つである小1プロブレム。豊橋市でも、小学校低学年の不登校者数が増加傾向にあります。子どもたちが楽しく小学校へ通うためには、幼保こども園から小学校への円滑に接続する教育活動が重要となります。本年度は、交流会や学習会を通して、園の活動を小学校での学びにつなげていく意識を高め、幼保こども園と小学校との連携を深めていきたいと思っております。

本年度は、7月に「園参観と語る会」をオンラインではなく悟真寺幼稚園で開催させていただき、8月には「学習会」の開催も予定しています。また、架け橋期のカリキュラム作成にむけ、幼児期から小学校への架け橋期をイメージした実践事例をお知らせしていく予定です。

豊橋市立小中学校情報ネットワークには、「幼年期教育の手引き」ダイジェスト版など、以下の内容が掲載してあります。ぜひ、ご覧いただき、ご活用ください。

架け橋教育の充実のために

子どもの目線に立って育てたい「自主性」と「思いやり」

- 1 発達や学びの連続性を考えた幼保小の連携
 - ① 保育園児との直接交流
 - ② 小学校生活科授業参観
 - ③ 「園参観」と「語る会」
 - ④ 子どもを真ん中に学び合う学習会
- 2 幼児教育と小学校教育をつなげる「架け橋期のカリキュラム」
 - ① 生活する力
 - ② かかわる力
 - ③ 学ぶ力
- 3 児童期につながる「育ってほしい10の姿」



今後、幼年期だよりを通して、取り組みの様子をお伝えする予定です。各校におかれましても、子どもたちの育ちと学びをつなぐために、交流・連携・接続を進めていただきますようお願い申し上げます。

「令和6年度幼保こども園と小学校の連携に向けた取り組みまとめ」の積極的な活用を！

新1年生が、より安心して小学校生活が送れるようにするために、各小学校が工夫して取り組んでいる内容をまとめ、昨年度末に各校1冊ずつ配付いたしました。

- 入学当初の時間割やカリキュラムを弾力的に設定している例
- 年長児が小学校で授業体験や給食交流を行った例
- 近くの農園で園児と児童と一緒に野菜を育てた例

など、様々な取り組みが掲載されています。他校での活動を参考に、今年度も幼保こども園と小学校とのなめらかな接続に向けて、積極的な交流、連携をお願いいたします。



幼保こども園・小情報交換に関するお願い

令和8年度小学校別就学予定者（年長児）調べについて

今年度も、市内全幼稚園、保育園、認定こども園に来年度4月に入学する小学校別就学予定者数調べの協力を依頼しました。昨年度同様、高山学園・くすのき学園・あゆみ学園・ゆたか学園・いわさき学園にも年長児数を報告していただきます。校区の小学校に入学して特別支援学級に入級しようか、特別支援学校に進学しようか迷っているご家庭もあります。

調査結果をまとめ、7月初めに各小学校に送ります。早期の就学相談や幼保認定こども園・小の交流等にご活用ください。（6月1日現在の就学予定者数です。）



令和7年度 幼年期教育研究委員会の主な活動

- 「園参観と語る会」「学習会」の計画・運営
なめらかな接続に向けての交流（幼保認定こども園と小学校）や、今日的な課題について互いに学ぶ場
- 「ようねんきだより」の発行
先進的な取り組み、交流活動の工夫、連携の事例などの紹介
- 幼保こども園・小の連携を深めるためのはたらきかけ
就学予定者調べ、学びの連続をイメージできる「つながるシート」作成
- 架け橋期カリキュラムの開発に向けて
文部科学省「架け橋期のカリキュラムイメージ」を参考に、豊橋版カリキュラムシート(案)を作成

園参観と語る会

日時：7月23日(水) 9:30～
場所：悟真寺幼稚園

幼年期教育学習会

日時：8月26日(火) 14:00～
場所：アイプラザ豊橋

6月20日(金)まで参加申し込みを受け付けています。幼保こども園・小の連携に向け、一緒に考えていきましょう。

